

開講日	2009年4学期 水曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室A	医	技	保
コーディネーター	臨床分子情報医学 准教授 田中 靖人			●	●	○

※●:コア科目、○:選択科目

科目概要 および 期待される 成果	【概要】いたん臨床現場を離れた医師や臨床検査技師を対象に各種検査の基本的な理解を深め、現場復帰を促すカリキュラムです。基礎コースからはじまり、それぞれの目的に即した応用コースを受講することにより、各種検査に関する専門的な知識のみならず、それぞれの検査の臨床的有用性を習得されたい。 【期待される成果】実際の診断に役立つ各種検査に関する知識を得るために最低限必要な講義内容を厳選しており、実際の臨床の場ですぐに生かせるように、医療職及び医療に間接的に携わる方の復帰を支援する。
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
検査～基礎コース	1	腹部超音波検査の取り方・見方(実習)	腹部領域(肝、胆、脾、消化管など)の病変の有無を拾い上げる目的で、侵襲なくベッドサイドで行うことが可能な検査である。スクリーニング検査としてのテクニックを習得する。	4月8日	准教授 田中 靖人 臨床分子情報医学
	2	呼吸器診療の入り口ー胸部X線	呼吸器疾患の発見動機は、咳や息切れなどの自覚症状の他に、しばしば胸部X線の異常陰影による。胸部X線写真には様々な陰影が写し出され、非常に情報が多い。異常陰影を見逃さないための基本的読影方法を解説する。	4月15日	病院講師 前野 健 呼吸器内科
	3	知っておきたい検尿・尿沈渣デ	腎機能のみならず体内に過剰に産生された血中の物質も排泄され、病期の初期診断においては尿の定性検査及び尿沈渣は必須であり、その臨床的意義を学習する。また、最近注目されているCKD(慢性腎臓病)についても学習する。	4月22日	准教授 吉田 篤博 人工透析
	4	X線CT検査の基本と実践	CTは連続する断層画像であり、単純X線写真と比較し、読影の難易度は決して高くはない。一方、画像再構成や表示条件に関する基本的知識なくては、大きな落とし穴が存在する。今回はCT読影基本について臨床症例を交えて紹介する	5月13日	准教授 原 真咲 中央放射線部
	5	心電図の読み方 これだけは見逃さない	心電図の有用性と限界について学習し、正常心電図を理解するとともに、専門医に紹介すべき心電図異常、治療を要する不整脈を判読できるようにする。	5月20日	准教授 土肥 靖明 循環器内科
検査～応用コース I	6	血液像・骨髄像の見方	一枚の血液標本、骨髄標本を検鏡することにより、病気の診断、治療、管理などに必要な多くの情報を得ることができる。血液像および骨髄像の正しい見方を学習する。	5月27日	講師 石田 高司 血液・膠原病内科
	7	微生物検査:グラム染色	検体採取からグラム染色、培養検査など臨床微生物検査の方法を解説し、実際の臨床診断に至る過程を学習する。特に、グラム染色の実技指導を行う。	6月3日	講師 立野 一郎 細菌学
	8	心臓超音波検査	心エコー法を用いた左室収縮能・拡張能の評価法および臨床への行かし方、特に心不全管理への応用について解説します。これにより、心不全患者管理の質の向上が期待されます。	6月10日	准教授 大手 信之 CCU
	9	頸部の超音波検査	甲状腺、副甲状腺および頸動脈の正常像を理解する。甲状腺では結節性病変の鑑別診断、甲状腺機能亢進症や低下症の各疾患の特徴的所見、頸動脈では動脈硬化所見の把握を目的とする。	6月17日	准教授 岡山直司 代謝・内分泌内科
	10	消化器診療の入り口ー消化管造影検査・読影	バリウムなど造影剤を用いて食道・胃・十二指腸・大腸の病変を描出し、その良・悪性の鑑別、病型の決定、病変の範囲の決定、進度の推定などを実際の症例で解説する。	6月24日	講師 神谷 武 消化器内科
検査～応用コース II	11	上部消化管内視鏡検査	X線検査では描出困難な部位や病変部の詳細な情報(微細な粘膜の凹凸や粘膜の色調変化など)を得ることができ、また生検によって確定診断が可能となる。実際の症例で解説する。	7月1日	准教授 中沢 貴宏 内視鏡部
	12	脳のCTとMRI検査	症例に基づいて、脳血管障害・神経変性疾患における画像検査を概説する。神経疾患者を対象とした日常診療において、“すぐに使える有用な知識”を身につけることを目標とする。	7月8日	講師 松川 則之 神経内科
	13	めまい診療における眼振の見方	めまいは日常診療において頻度が高く、救急で遭遇する機会も多い症状のひとつである。本コースでは侵襲がなく簡便なフレンツェル眼鏡を用いて眼振所見をとり、めまいの簡単な診断・治療ができる目的とする。	7月15日	講師 渡邊 暢浩 耳鼻咽喉科
	14	婦人科領域の超音波検査	婦人科領域の中でも婦人科腫瘍の超音波画像を提示し、多種に及ぶ腫瘍性疾患の特徴を紹介する。特に、卵巣癌の診断に重点を置き、手術適応の有無を判断できる能力を習得する。	7月22日	病院准教授 荒川 敦志 産婦人科
	15	乳がんのABCとマンモグラフィーの読み方	乳がんについての基礎知識を整理し、マンモグラフィーの役割について理解する。マンモグラフィーにおける異常所見(腫瘍陰影、石灰化所見、その他の所見)について学習し、マンモグラフィーに対する読影力を向上させる。	7月29日	講師 遠山 竜也 乳腺外科